Panasonic

取扱説明書

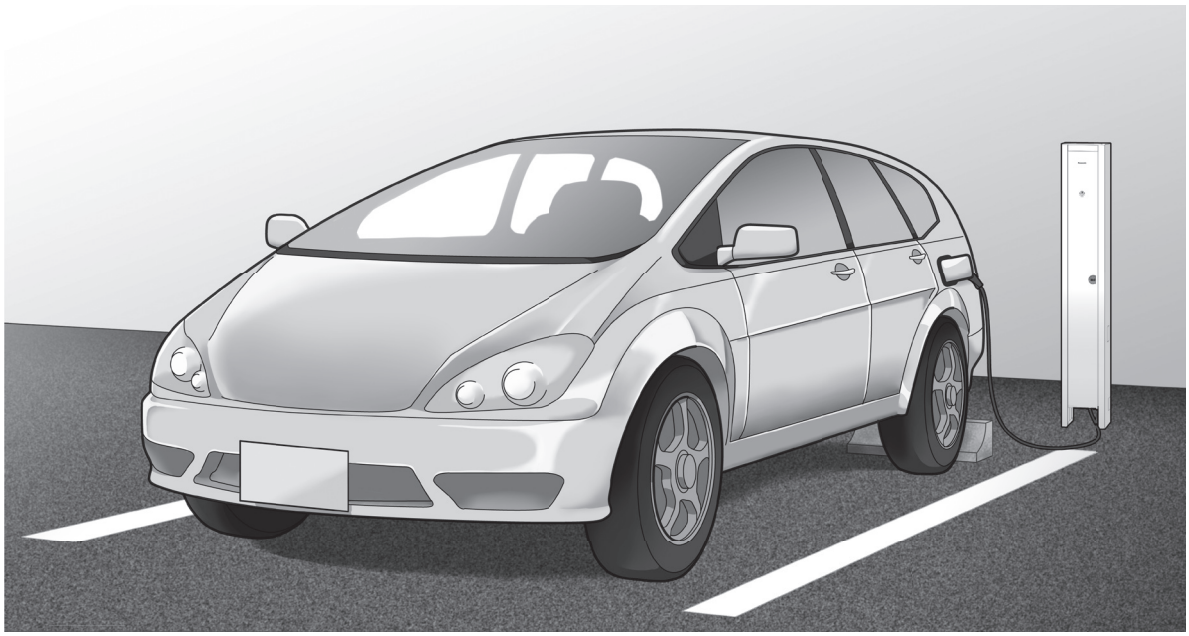
EV·PHEV充電用 充電スタンド

品番 DNM321S （標準タイプ）
DNM321PS（充電コントロール機能付タイプ）

EV·PHEV充電用 充電スタンド

エルシーヴ　マイン

ELSEEV mine Mode3



このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に**「安全上のご注意」（4〜5ページ）を必ずお読みください。**

■保証書は「お引き渡し日·販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

施工説明書、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書の内容を守らなかったために発生した不具合については、保証期間内であっても無料修理の対象外となります。

保証書付き

目的にあわせてすばやく探す

車両の充電方法を知りたい
充電方法 8ページ

設定を変更したい
充電設定の変更 12ページ

点検する個所を知りたい
お手入れと点検 17ページ

疑問解決に
故障かな? 20ページ

ご使用の流れ

安全で快適にお使いいただくために

1 準備する 8ページ

LED表示で通電を確認する

▼

扉を開ける

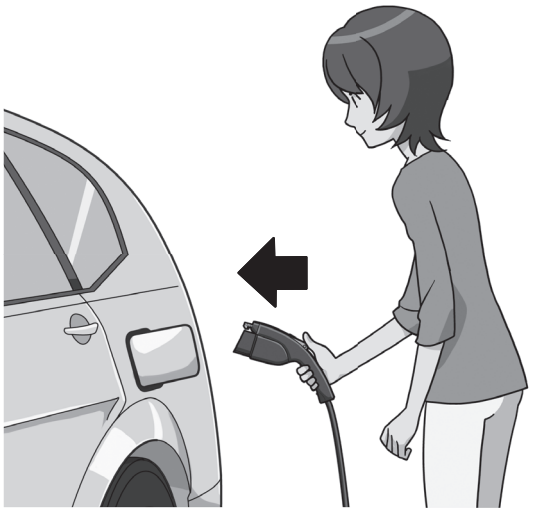
▼

充電用コネクタ取り外し、充電ケーブルを取り出す

▼

扉を閉める

2 接続する 9ページ



充電用コネクタを車両の給電口に差し込む

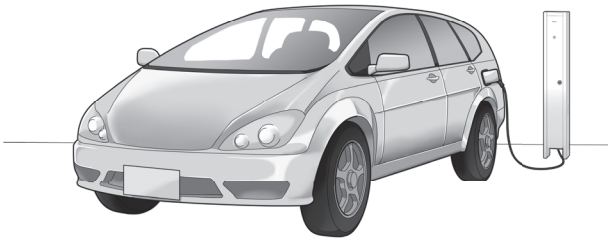
▼

「ガチャ」と音がして、ロックがかかったことを確認する

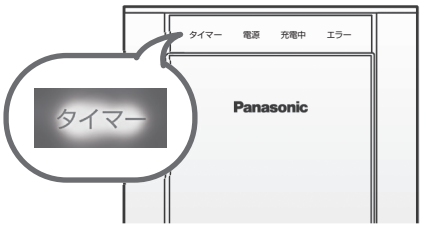
▼

LED表示で充電が開始されたか確認する

3 充電中 10ページ



事前に充電タイマーを設定することで充電時間を設定することができます。
設定方法は12～15ページをお読みください。



4 片付ける 11ページ

充電用コネクタを車両から取り外す

▼

扉を開ける

▼

充電用コネクタを充電コネクタ用ホルダに戻す

▼

「ガチャ」と音がして、ロックがかかっていることを確認する

▼

充電ケーブルをケーブルフックに巻き付けて、収納する

▼

扉を閉める

故障かな? 20ページ

お問い合わせの前に
「故障かな?」(20ページ)を
お読みください。

よくあるお問い合わせ

●電源LED、充電中LEDが点灯しない

●充電が開始しない

もくじ

ご使用の前に必ずお読みください。

はじめに

安全上のご注意	4
各部の名前	6
LEDの状態表示・ボタンの機能	7

充電方法

準備する	8
接続する	9
充電中	10
片付ける	11

充電設定の変更

充電設定の変更	12
ディップスイッチの設定	14

確認・操作

漏電ブレーカの確認・操作方法	16

お手入れと点検

お手入れのしかた 日常点検	17
定期点検	18
定期点検表	19

故障かな?

故障かな?	20
異常発生時のLED表示内容	21
品番表示位置 仕様	22
保証とアフターサービス	23

安全上のご注意 必ずお守りください

お願い

当社では品質、信頼性の向上に努めていますが、一般的に金属製品は使用年月とともにさびなどの腐食が発生し、最終的に継続的使用が困難な状態（寿命）が生じます。

また充電用コネクタについても一般的に抜き挿し回数によって継続的使用が困難な状態（寿命）が発生します。

本製品も同様に使用条件、使用場所で異なりますが、本体については施工後10年程度経過すると劣化が進みますので、更に長くご使用いただくためお客様ご自身で定期点検表の点検頻度に基づき必ず定期的に点検してください。

また、充電ケーブルは3年に1回程度、充電ユニットは9年に1回程度交換してください。

異常や不具合がありましたら、施工工事店までご連絡ください。

本製品はお客様の大切な財産です。確実に点検を行うとともに以下のことを必ずお守りください。

- 万一、注意事項に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。
- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

■使用時のご注意

⚠警告

感電、火災、やけど、けが、破損などを防ぐために

禁止

- ●ぬれた手で充電用コネクタを触らない
- ●スタンド内部に水をかけない
- ●製品の分解・改造は行わない
- ●充電用コネクタを水につけない
- ●電気自動車およびプラグインハイブリッド車の充電用途以外で使用しない
- ●定格容量(200 V/20 A)を超えて使用しない
- ●扉を開けたまま充電しない
- ●可燃性ガスや引火物の近くで使用しない
- ●スタンド内部に充電ケーブル以外のものを入れない
- ●製品を布や布団、服などで覆わない
- ●幼児や子供には触らせない
- ●充電ケーブルを束ねたり、ケーブルフックに巻きつけた状態のまま充電しない
- ●充電中以外は車両に充電用コネクタを差し込んだまま放置しない
- ●漏電ブレーカやスイッチの確認・操作をする場合は、絶対に電極部に触れない
- ●植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器(ICD)をお使いの方は、充電中は密着するような姿勢はとらない
  充電器本体からの電波が作動に影響を与えるおそれがあります。

禁止

- ●充電ケーブルがねじれている状態で無理に引っ張らない
  ねじれている場合は、丁寧にねじれを戻してから使用してください。
- ●低温環境下では、充電ケーブルに過度な衝撃・振動・屈曲を与えない

必ず守る

- ●充電用コネクタや充電ケーブルに割れ・欠けなどの異常が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する
  施工工事店までご連絡ください。
- ●異常が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する
  施工工事店までご連絡ください。
- ●雨の日に使用する場合は、充電用コネクタの電極部に水がかからないように使用する
- ●充電用コネクタは確実に奥まで差し込む
- ●使用後は充電用コネクタを充電コネクタ用ホルダに戻す
- ●扉を閉めるときは充電ケーブルを挟まないよう注意する
- ●充電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、40℃程度のお湯で解凍してから使用する
  (電極部にはかからないようにしてください)
- ●充電電流設定をするときは、電源線や漏電ブレーカの許容電流を超えない値に設定する

けがや事故などを防ぐために

⚠注意

禁止

- ●製品の上に乗ったり、もたれかからない
- ●充電用コネクタに、落下や踏みつけなどの強い衝撃を与えない
- ●充電ケーブルを、人や車両などで踏みつけない
- ●充電用コネクタを抜くときは、強引に引っ張らない
- ●充電ケーブルにぶら下がったり、引っ張ったりしない
- ●充電用コネクタを振り回さない
- ●製品に殺虫剤をかけない
- ●扉や鍵を強引に開閉しない
- ●水抜き孔をふさがない

必ず守る

- ●充電作業は車両側の取扱説明書に従って作業する
  車両側の機器が故障する原因となります。
- ●使用を終了した製品は、万一の場合の倒壊防止のため、放置せずに撤去する
- ●充電用コネクタはロック解除ボタンを押してから抜く
- ●充電ケーブルは、地面に触れないように巻き付ける
- ●充電ケーブルは、推奨巻き回数になるように巻き付ける
  （約5巻き　1巻き:約1m～1.2m）
- ●扉で手や指をはさまれないように注意する

■保守・点検時のご注意

感電、火災、やけど、けが、破損などを防ぐために

⚠警告

禁止

- ●製品に水をかけて清掃しない
- ●製品に有機溶剤（ベンジンなど）や家庭用洗剤などをかけて清掃しない
- ●操作部カバーを外したところから不用意に指や工具を入れない
- ●漏電ブレーカやスイッチの確認･操作をする場合は、絶対に電極部に触れない
- ●施工工事店以外は、取付･交換作業を行わない

必ず守る

- ●お手入れ･点検やディップスイッチを操作する場合は、漏電ブレーカを「切」にしてから作業する
- ●定期点検表（19ページ）に基づき点検頻度を守って必ず定期的に点検し、異常や不具合があれば施工工事店に連絡する
- ●点検の結果、異常や不具合が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する
  施工工事店までご連絡ください。

けがや事故などを防ぐために

⚠注意

禁止

- ●絶縁抵抗計（メガー）を使用しない
  絶縁抵抗を計測する場合は、施工工事店へご依頼ください。

～施工工事店様へ～

- ●絶縁抵抗計（メガー）を極間で使用しない
  電源一接地間で絶縁抵抗を測定する場合は、ブレーカーを切にし、電源線端子ねじ～接地間で実施してください。極間に電子部品が接続されており、製品が破損する原因となります。

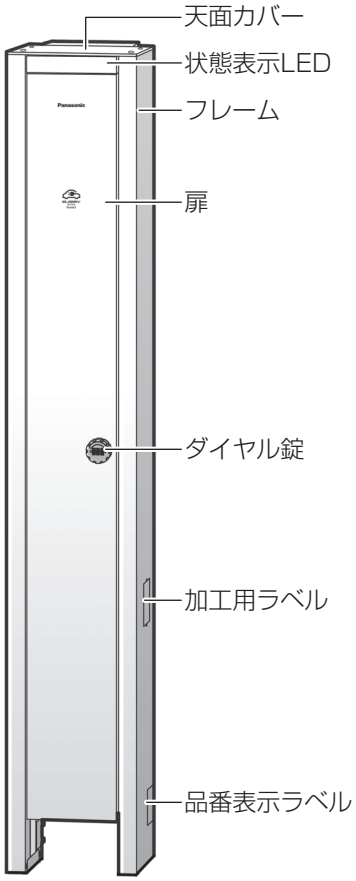
必ず守る

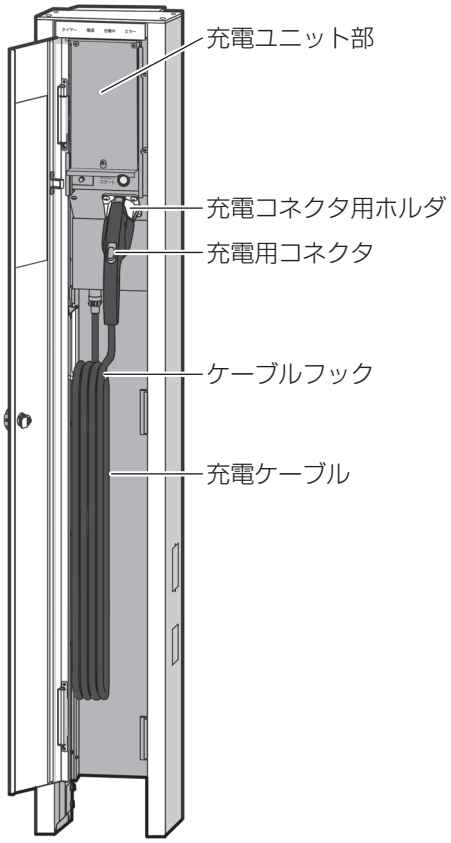
- ●動物などの排泄物が付着することが考えられる場合は、点検頻度を短くし、安全確認を行う
- ●フレームに植栽などの土がかからないように管理する
  さびなどの腐食が促進され、製品倒壊の原因となります。
- ●製品にさびが発生した場合、必ず早期に補修する

- ●本製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。
- ●夏場など直射日光が強い場所で使用する場合は、金属表面温度が高くなるおそれがありますので、特にご注意ください。
- ●充電用コネクタが汚れていたり、充電用コネクタに水分が付着している場合は乾いた布でふき取ってからご使用ください。
- ●充電ユニットおよび漏電ブレーカが冠水した場合、充電ユニットおよび漏電ブレーカを交換してください。
- ●積雪時は適切に除雪してください。
- ●清掃方法については「お手入れと点検」（17ページ）をご確認ください。
- ●表面が汚れたら、よく絞った布やぞうきんなどやわらかいものでふいてください。
- ●長期間使用しないときは、節電のため漏電ブレーカを「切」にしてください。
- ●製品の近くでインバータ機器を使用しないでください。

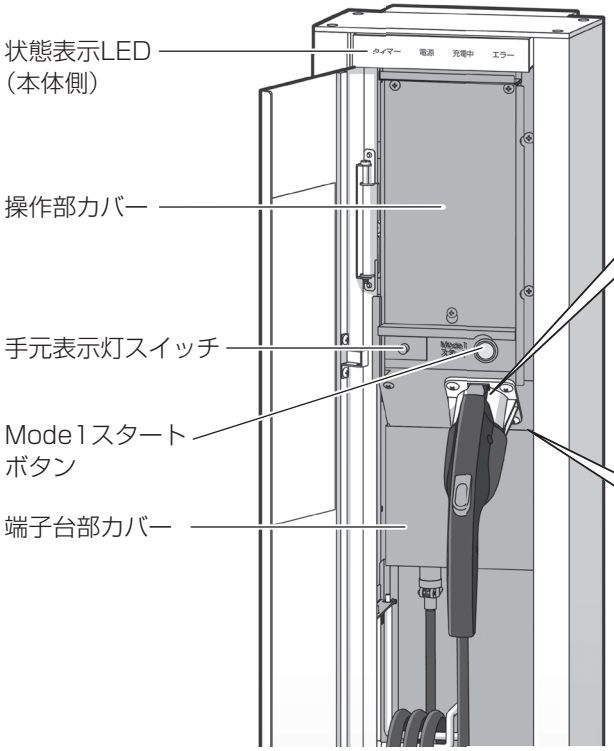
各部の名前

充電スタンド本体

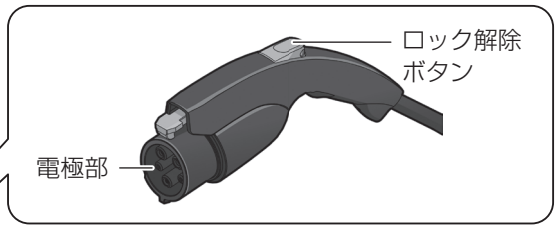




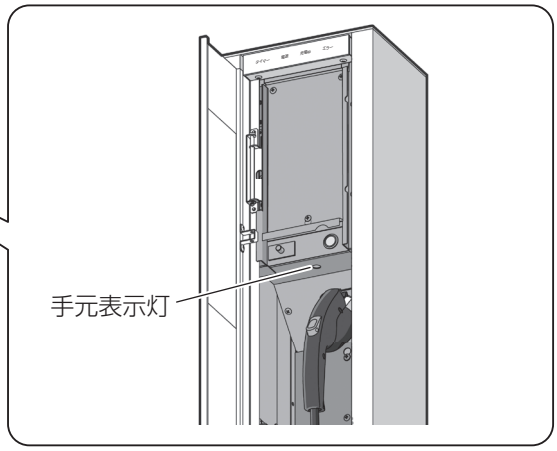
充電ユニット部



■充電用コネクタ

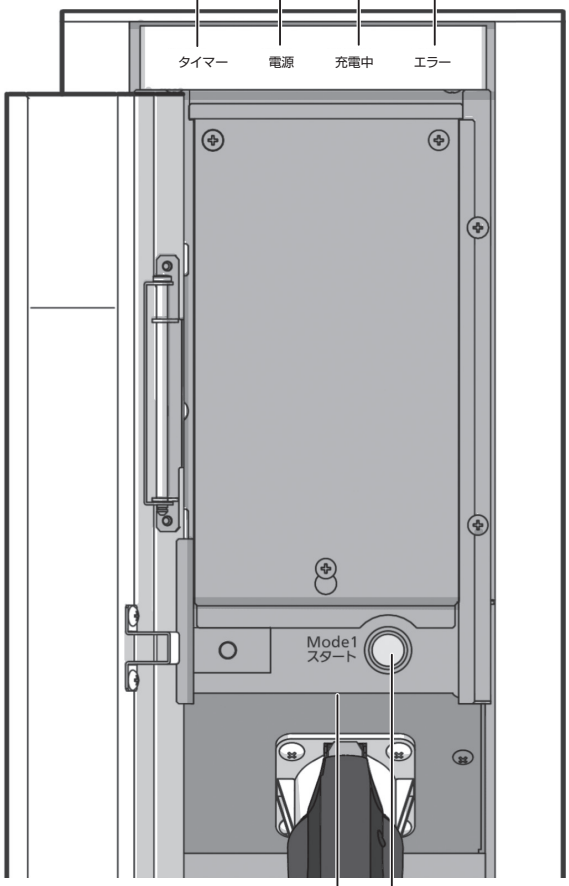


■手元表示灯



LEDの状態表示・ボタンの機能

ご使用前に通電確認のため電源LED（緑）が点灯していることを確認してください。
その他のLED 表示は以下のとおりです。正常に点灯していない場合は「故障かな？」(20ページ) を
ご参照ください。



タイマーLED(赤)

充電タイマーが設定されている場合、充電中はタイマーLED(赤)が点灯します。
充電終了までの残り時間が10分以下になると点滅します。(10ページ)
充電していない時や、充電タイマー設定が「連続」になっているときは、消灯します。

電源LED(緑)

充電ユニット部に電源が供給されている時に点灯します。
無通電状態では消灯します。

充電中LED(赤)

充電中に点灯します。
異常発生時には、点滅します。(21ページ)
充電していない時や、異常発生していない時は、消灯します。

エラーLED(橙)

異常発生時に点灯します。(21ページ)
正常に動作している時は、消灯します。

手元表示灯

扉を開くと点灯し、閉じると消灯します。

Mode1スタートボタン

Mode1車両への充電時、車両に充電用コネクタを接続してからMode1スタートボタンを押すと、充電が始まります。

ご注意

●充電モード設定で、Mode3車両専用に設定している時は、Mode1スタートボタンを押しても、Mode1車両の充電はできません。（12ページ）

充電方法 ❶

準備する

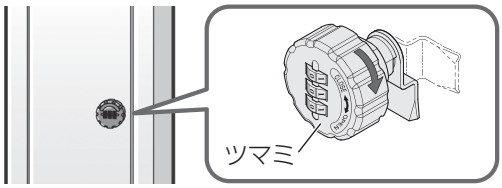
1 LED表示で通電を確認する

LED表示状態については7ページをお読みください。

2 解錠して扉を開ける

① ダイヤルの番号を暗証番号に合わせる。
※ダイヤル錠に付着した雨水などが凍結している場合は、40℃程度のお湯で解凍してから使用してください。

② ツマミをOPEN方向（右回り）に回し、扉を開ける。



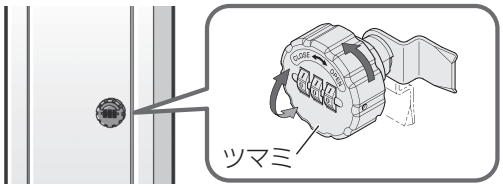
■はじめてお使いの場合
工場出荷時の暗証番号は「000」に設定されています。
設定を変更する場合は、11ページを参照してください。

3 充電用コネクタを取り外し、ケーブルフックに巻き付けてある充電ケーブルをすべて取り外す

4 充電ケーブルが通線口を通るように扉を閉め、施錠する

① 扉を閉め、ツマミをCLOSE方向（左回り）に回す。

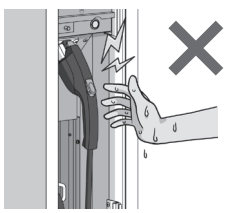
② ダイヤルを任意の番号に回し、施錠する。



⚠警告

禁止

●ぬれた手で充電用コネクタを触らない



感電の原因となります。

●扉を開けたまま充電しない

火災･感電や故障の原因となります。

必ず守る

●雨の日に使用する場合は、充電用コネクタの電極部に水がかからないように使用する

感電の原因となります。

●扉を閉めるときは充電ケーブルを挟まないよう注意する

火災･感電や故障の原因となります。

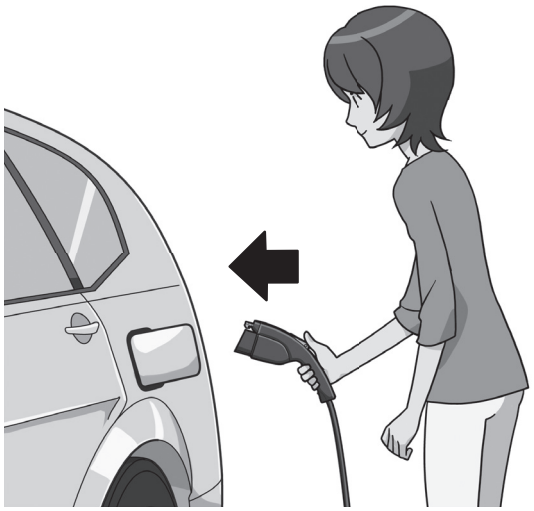
●充電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、40℃程度のお湯で解凍してから使用する（電極部にはかからないようにしてください）

火災･感電や故障の原因となります。

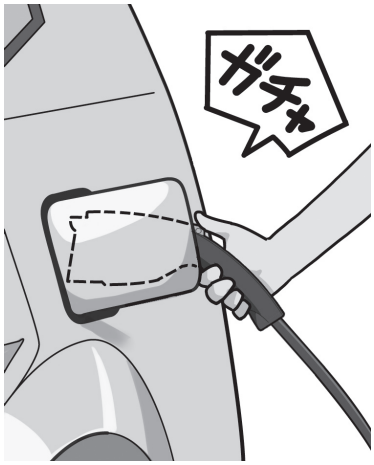
お願い
●車両側の充電開始･終了作業については、車両側の取扱説明書に従って作業してください。
●LED 動作に異常がある場合は、施工工事店までご連絡ください。

接続する

1 充電用コネクタを車両の給電口に差し込む



2 「ガチャ」と音がして、ロックがかかったことを確認する

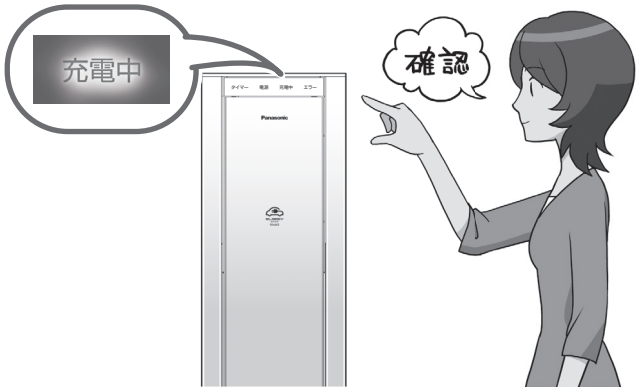


⚠警告

●充電用コネクタは確実に奥まで差し込む
発熱・火災の原因となります。

必ず守る

3 LED表示で充電が開始されたか確認する

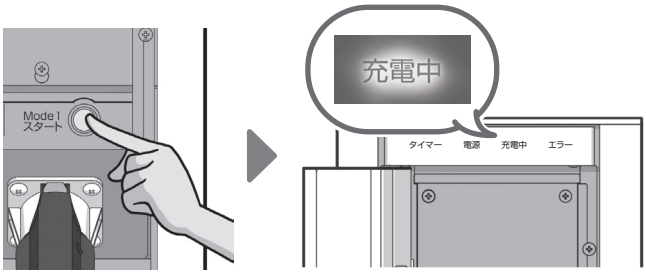


Q 充電中LEDが点灯しない

A Mode1車両の場合、Mode1スタートボタンを押してください

1 Mode1スタートボタンを押す。

2 充電中LED（赤）が点灯し、充電が開始されたか確認する。



●充電モード設定で、Mode3車両専用に設定している時は、Mode1スタートボタンを押しても、Mode1車両の充電はできません。（12ページ）

●Mode1車両を充電したい場合は、充電モード設定を【Mode1/3車両共用】または【Mode1車両専用】に設定する必要があります。
充電モード設定の変更方法は12～15ページをお読みください。

●瞬時停電が発生すると、安全性を保つため充電が停止する場合があります。
Mode1車両接続時は自動復帰しないため、再度充電を開始する場合は、Mode1スタートボタンを押してください。

●車種によっては、充電できない場合があります。

●設定を変更しても、充電中LEDが点灯しない場合は、「故障かな?」（20ページ）をご確認ください。

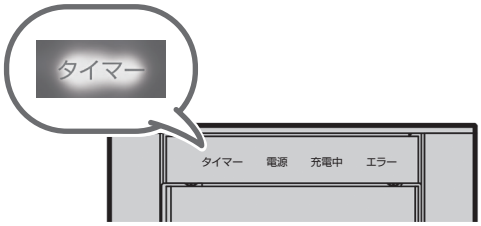
充電方法 ❷

充電中

充電タイマーを設定している場合

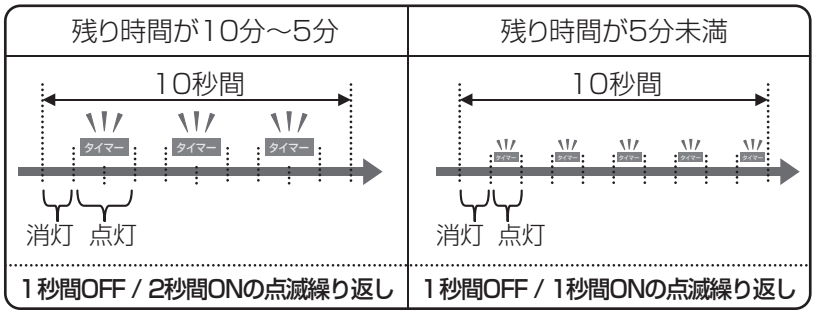
充電タイマーの設定方法は12～15ページをお読みください。

充電中はタイマーLED(赤)が点灯します。



充電していないときや､充電タイマー設定が「連続」になっているときは､消灯します。

充電終了までの残り時間が10分以下になると点滅します。



■充電電流の自動制御

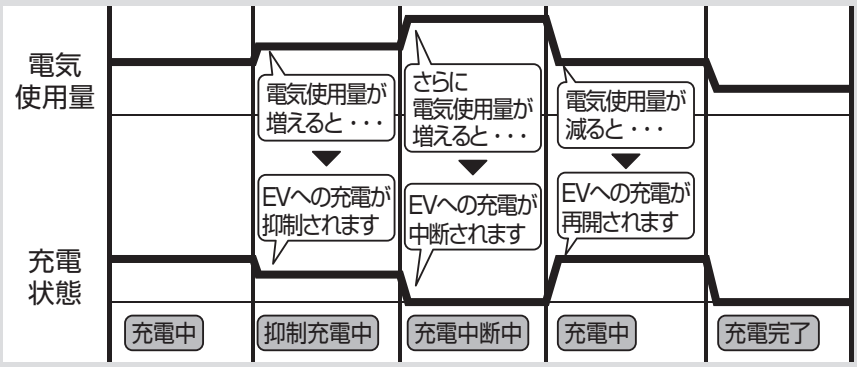
(DNM321PSの場合)

ピークコントロールボックス(別売)と連携することで､EV充電によって住宅内の電気使用量が増えると、ブレーカが切れないようにEV充電を抑制･中断させます。

充電器本体で設定した充電電流設定値を超えない範囲で 制御を行います。

※Mode1車両および一部の車種は充電電流の制御ができません。

ピークコントロールボックス(別売)と連携した場合のイメージ図

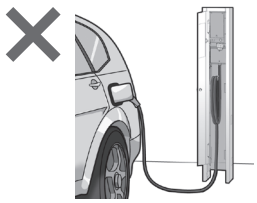


充電するときは以下のことに注意してください。

⚠警告

禁止

● 充電ケーブルを巻き付けたり、束ねた状態で充電しない



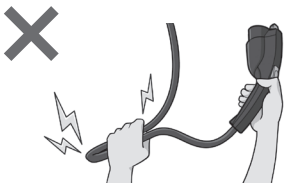
発熱･火災の原因となります。

●充電ケーブルがねじれている状態で無理に引っ張らない

ねじれている場合は、丁寧にねじれを戻してから使用してください。

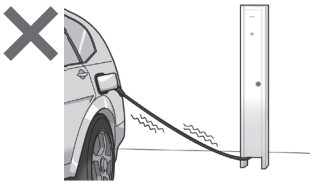
充電ケーブルの断線の原因となります。

充電用コネクタに落下や踏みつけなどの強い衝撃を与えないようにする

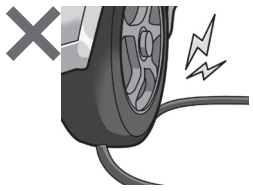


充電ケーブルは無理に曲げないようにする

充電ケーブルで足を引っかけないように注意する



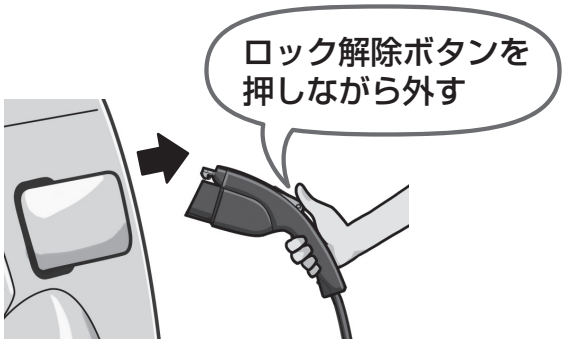
充電ケーブルは十分な余裕を持たせた状態で接続する



充電ケーブルは､人や車両などで踏まれないようにする

片付ける

1 充電用コネクタを車両から取り外す



2 解錠して扉を開ける

8ページの 2 を参照してください。

3 充電ケーブルを巻き付けて、充電コネクタ用ホルダに充電用コネクタを戻して、充電ケーブルを巻き付ける

⚠注意

必ず守る

- **充電ケーブルは、地面に触れないように巻き付ける**

  足の引っ掛けや充電ケーブルが傷つく原因となります。

- **充電ケーブルは、推奨巻き回数になるように巻き付ける（約5巻き　1巻き：約1m～1.2m）**

  充電ケーブルが屈曲して、被覆が破れたり断線するおそれがあります。
  感電・発火の原因となります。

4 扉を閉め、施錠する

8ページの 4 を参照してください。

■暗証番号の設定方法

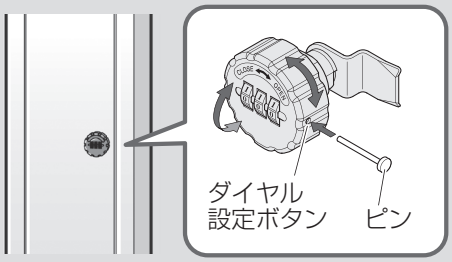
- 数字3桁の任意の番号に設定できます。
- 暗証番号設定は、ツマミが施錠位置にあり暗証番号が合っている状態でのみ変更可能です。

① ツマミを施錠位置（CLOSE）にし、暗証番号が合っている（解錠状態）ことを確認します。

② ダイヤル設定ボタンをピンなど（φ2.5mm以下）で押した状態のまま、任意の暗証番号（000～999）に合わせます。

③ ピンを抜くと、暗証番号の設定が完了します。

④ 設定した暗証番号を22ページに記入します。



⚠注意

必ず守る

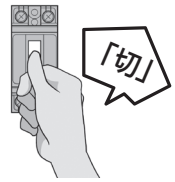
- **設定後、必ず指定した番号での解錠・施錠操作が行えるかを確認する**

充電設定の変更 1

⚠警告

必ず守る

- **ディップスイッチを操作する場合は、必ず漏電ブレーカを「切」にしてから作業する**
  感電の原因となります。
- **漏電ブレーカやスイッチの確認･操作をする場合は、絶対に電極部に触れない**
  感電の原因となります。
- **操作部カバーを外したところから不用意に指や工具を入れない**
  感電の原因となります。
- **充電電流設定をするときは、電源線や漏電ブレーカの許容電流を超えない値に設定する**
  発熱･発火の原因となります。



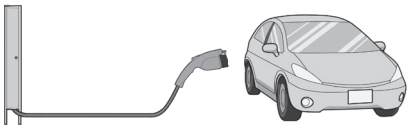
雨水が吹き込まないように、
雨天時などを避けて、作業する

■充電ユニット部では、下記のような設定ができます。(設定方法は、13～15ページ参照)

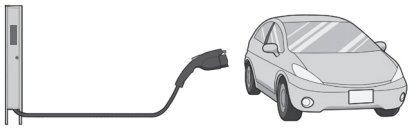
設定内容	内容説明	設定可能範囲
充電電流設定	**充電時の最大許容電流値を設定します。** 車両は最大許容電流値範囲内で充電を行います。	① 6A ② 8A ③10A ④12A ⑤14A ⑥16A(初期設定) ⑦18A ⑧20A
	常に最大許容電流値で充電を行うわけではありません。一般的に最大許容電流値の設定値が大きいほど、充電容量が大きくなるため、満充電までの時間が短くなります。最大許容電流値の設定が有効にならなかったり、設定値を小さくすると充電が開始しない車種があります。特別なことがない場合は、初期設定のままとしてください。	
充電タイマー設定	**充電時間を設定します。** 充電開始から設定された時間が経過すると、自動的に給電が止まります。「連続充電」の場合、満充電まで充電します。	① 30分 ②45分 ③60分 ④ 75分 ⑤90分 ⑥105分 ⑦120分 ⑧連続充電(初期設定)
充電モード設定	**充電できる車両(充電モード)を設定します。**※1 充電する車両の充電モードが分からない場合は、 ①Mode1/3車両共用の設定をお勧めします。	①Mode1/3車両共用(初期設定) ②Mode3車両専用 ③Mode1車両専用

※1 設定できる充電モードは以下の2種類です。(国際規格IEC61851-1)

Mode1 電源供給のみ（制御回路なし）



Mode3 充電器側に制御回路内蔵



■ピークコントロールボックスと接続した場合の設定項目(DNM321PSのみ)

特別なことがない場合は、初期状態から変更しないでください。
設定を間違えるとピークコントロールボックスとの送受信ができなくなる可能性があります。

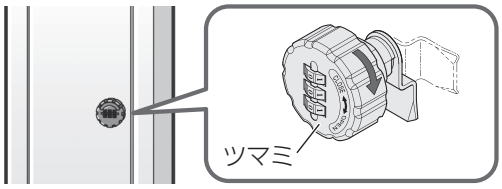
設定内容	内容説明	設定可能範囲
RS485終端切替設定	**通信ラインの終端抵抗有無を設定します。**	①終端有(初期設定) ②終端無
アドレス設定	**充電器本体のアドレスを設定します。**	01～15、32(初期設定：01)
通信有無設定	**ピークコントロールボックスとの通信有無を設定します。** 通信有の設定ではMode1車両の充電はできません。 DNM321PSでMode1車両を充電する場合は、通信無に設定してください。 Mode1車両はピークコントロールボックスによる充電電流の制御ができません。	①通信有(初期設定) ②通信無

充電設定の変更手順

1 解錠して扉を開ける

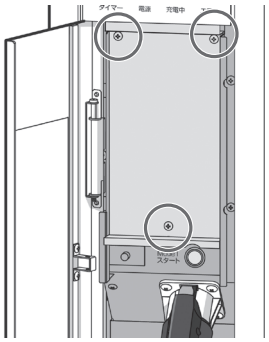
① ダイヤルの番号を暗証番号に合わせる。

② ツマミをOPEN方向（右回り）に回し、扉を開ける。

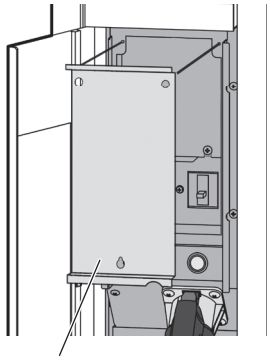


2 操作部カバーを取り外す

① 下部1か所のねじを緩め、上部2か所のねじを取り外す。

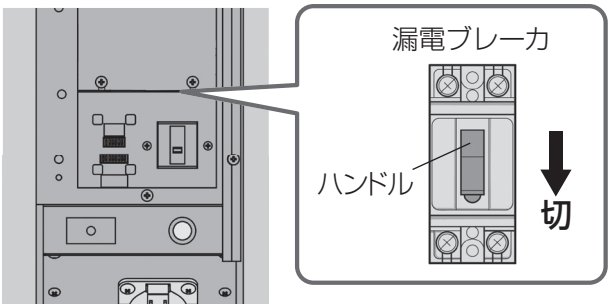


② 操作部カバーを取り外す。

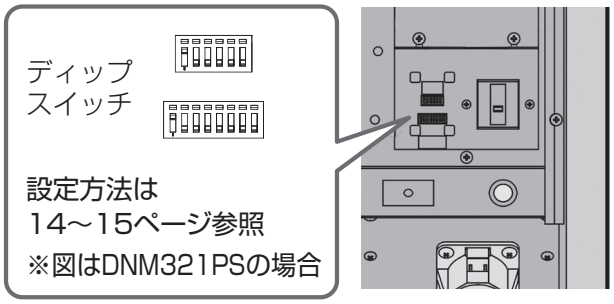


※操作部カバーを上にずらして取り外してください。

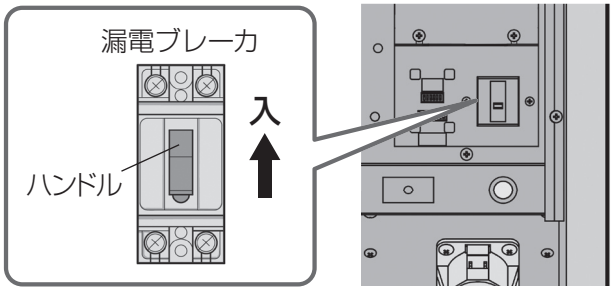
3 漏電ブレーカを「切」にする



4 ディップスイッチの設定を変更する

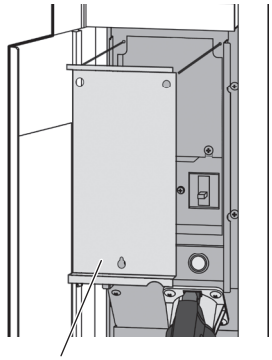


5 漏電ブレーカを「入」にする

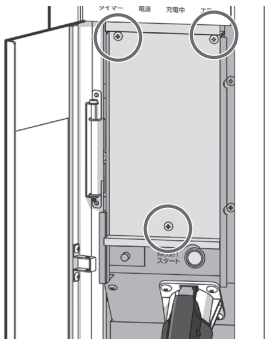


6 操作部カバーを取り付ける

① 操作部カバーを取り付ける。



② ねじ3か所を締め付ける。



推奨締め付けトルク：1.2N・m

7 扉を閉め、施錠する

8ページの 4 を参照してください。

充電設定の変更 ②

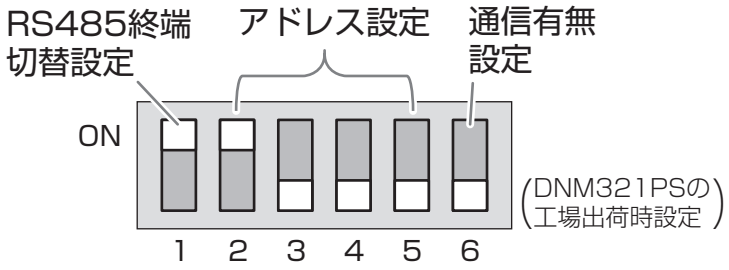
ディップスイッチの設定

通信設定スイッチ

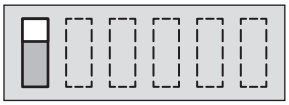
※DNM321PSのみ

終端抵抗有無、本体のアドレス番号、
通信有無を設定するスイッチです。
設定方法は下図をご確認ください。

※特別なことがない場合は、初期設定状態から
変更しないでください。設定を間違えると
ピークコントロールボックスとの送受信が
できなくなる可能性があります。

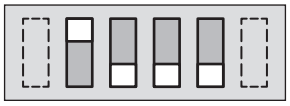
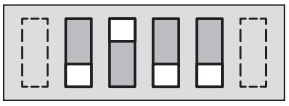
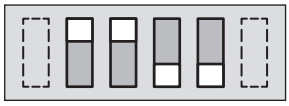
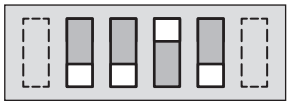
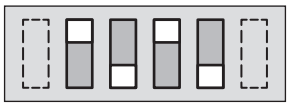
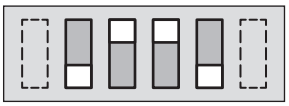
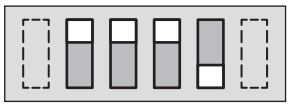
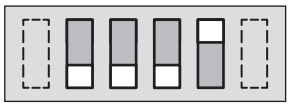
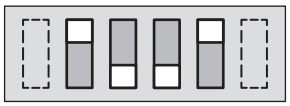
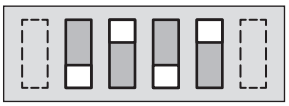
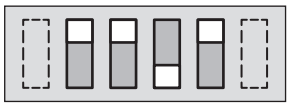
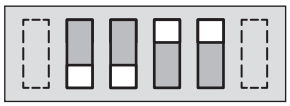
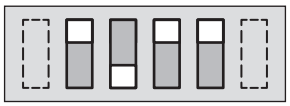
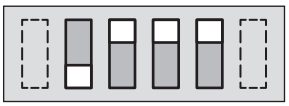
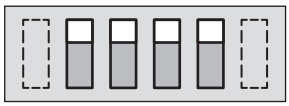
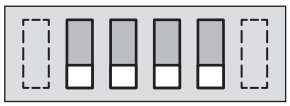


●RS485終端切替の設定方法

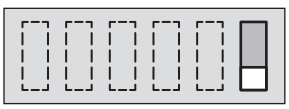
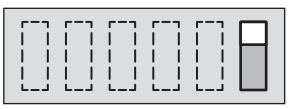
①あり(初期設定)	②なし
	

図の白色の部分がツマミの
位置を表しています。

●アドレスの設定方法

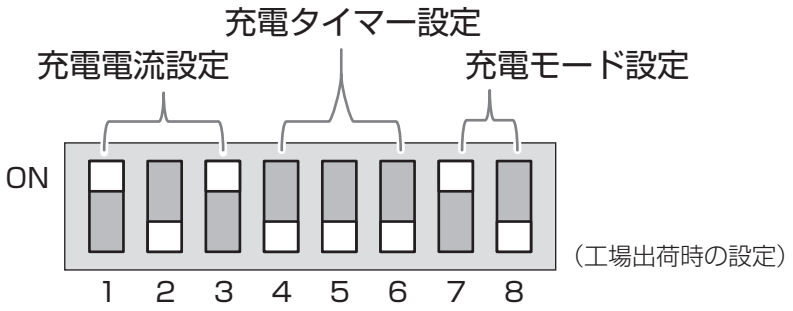
01(初期設定)	02	03	04
			
05	06	07	08
			
09	10	11	12
			
13	14	15	32
			

●通信有無の設定方法

①あり(初期設定)	②なし
	

充電設定スイッチ

充電モードと充電時の最大許容電流値、
充電時間を設定するスイッチです。
設定方法は下図をご確認ください。

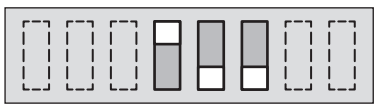
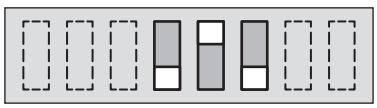
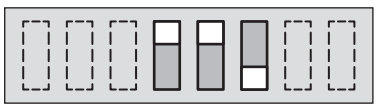
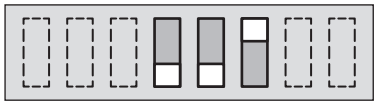
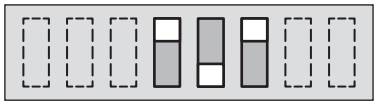
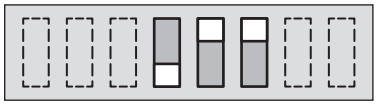
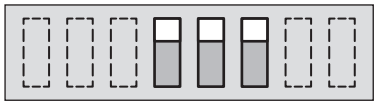
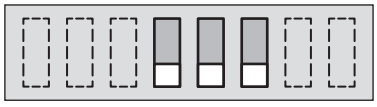


（工場出荷時の設定）

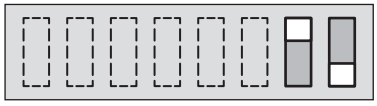
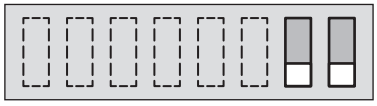
●充電電流の設定方法

①6A	②8A	③10A
④12A	⑤14A	⑥16A（初期設定）
⑦18A	⑧20A	

●充電タイマーの設定方法

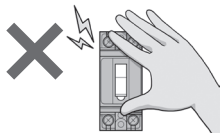
①30分	②45分	③60分
		
④75分	⑤90分	⑥105分
		
⑦120分	⑧連続充電（初期設定）	
		

●充電モードの設定方法

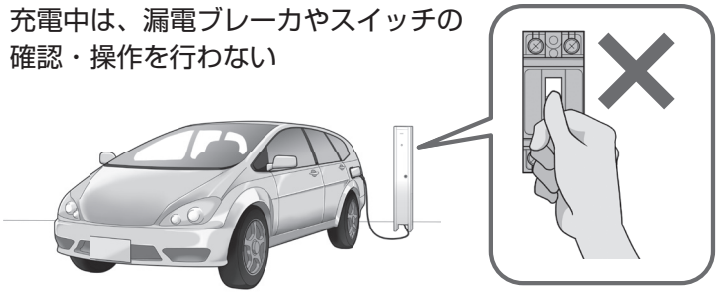
①Mode1車両･Mode3車両共用（初期設定）	②Mode3車両充電専用	③Mode1車両充電専用
		

漏電ブレーカの確認・操作

⚠警告

禁止	●操作部カバーを外したところから不用意に指や工具を入れない 感電の原因となります。
禁止	●漏電ブレーカやスイッチの確認･操作をする場合は、絶対に電極部に触れない 感電の原因となります。 
必ず守る	●漏電ブレーカやLED動作に異常が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する 施工工事店までご連絡ください。

充電中は、漏電ブレーカやスイッチの確認・操作を行わない



雨水が吹き込まないように、雨天時などを避けて、作業する

漏電ブレーカの確認・操作方法

●定期的に「テストボタン」を押して、漏電ブレーカが正常に動作するか確認してください。

●漏電ブレーカが「切」になった時は、原因を取り除いてから「入」にしてください。
電源再投入後、即動作する時は負荷が短絡状態か、負荷回路の漏電、または機器の異常です。施工工事店へ点検を依頼してください。

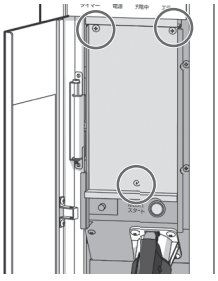
1 解錠して扉を開ける

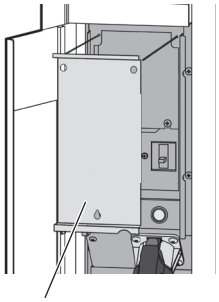
8ページの **2** を参照してください。

2 操作部カバーを取り外す

① 下部１か所のねじを緩め、上部２か所のねじを取り外す。

② 操作部カバーを取り外す。

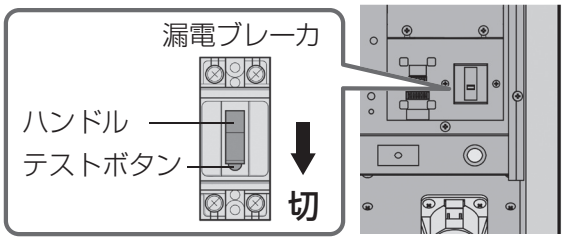




操作部カバー

※操作部カバーを上にずらして取り外してください。

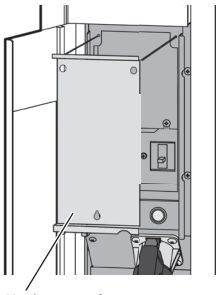
3 漏電ブレーカの「入」「切」（または「テストボタン」）を確認・操作する



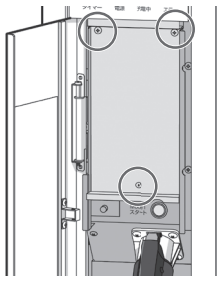
4 操作部カバーを取り付ける

① 操作部カバーを取り付ける。

② ねじ3か所を締め付ける。



操作部カバー



推奨締め付けトルク:1.2N·m

5 扉を閉め、施錠する

8ページの **4** を参照してください。

お手入れと点検 1

お手入れのしかた

●表面が汚れたら、よく絞った布やぞうきんなどやわらかいものでふいてください。
●積雪時は適切に除雪してください。
●スタンド内部や充電用コネクタが汚れていたり、水分が付着している場合は乾いた布でふき取ってください。
●ダイヤル錠など、劣化により交換が必要な場合は施工工事店までご連絡ください。

⚠警告

禁止	**●製品に水をかけて清掃しない** 火災･感電や故障の原因となります。 **●製品に有機溶剤（ベンジンなど）や家庭用洗剤などをかけて清掃しない** 火災･感電や破損の原因となります。
必ず守る	**●充電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、40℃程度のお湯で解凍してから使用する（電極部にはかからないようにしてください）** 火災･感電や故障の原因となります。

日常点検

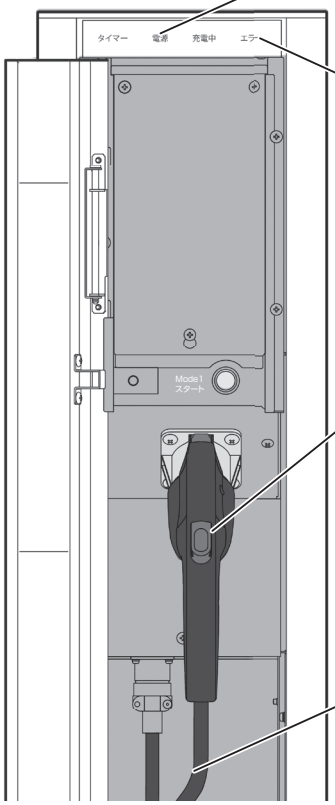
●安全にお使いいただくために、日常点検を行ってください。
●点検の結果、異常や不具合があった場合は、漏電ブレーカを「切」にして、施工工事店までご連絡ください。
（充電ケーブルの交換方法は、施工説明書「充電ケーブルの交換方法」の項に記載しています。）

【日常点検内容】点検頻度　1回 / 1日

周囲
●可燃性ガスや引火物を近くに置いていないか

本体
●布や布団、服などで覆っていないか
●動物の糞尿がついていないか

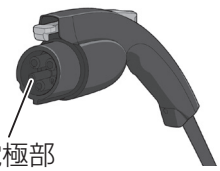
フレーム
●植栽などの土がかかっていないか



電源LED(緑)
●電源LED（緑）が点灯しているか

エラーLED（橙）
●エラーLED（橙）が消灯しているか

充電用コネクタ
●先端の電極部に異物などが付着していないか
●樹脂の割れ･欠けがないか



充電ケーブル
●外被の破れ、内部の電線被覆が見えるような傷、電線の露出がないか
●ねじれがないか

お手入れと点検 ②

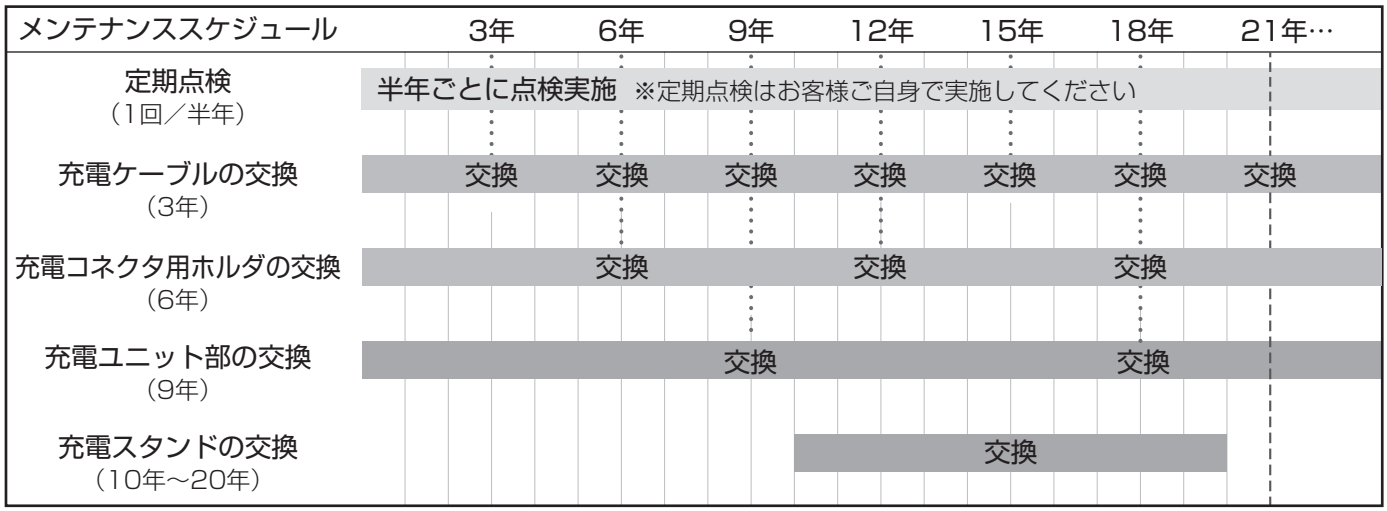
定期点検

●製品を長く･安全にお使いいただくために、定期点検を行ってください。
●定期点検は、 定期点検表（19ページ）に従い、 実施してください。
●塩害地･温泉地など劣化が促進される場所に設置している場合は、点検頻度を増やして（推奨：全ての項目を1回/3か月以上）、点検を実施してください。
●下記のメンテナンススケジュールに記載している部品は、 定期的に交換が必要な部品です。
●下記のメンテナンススケジュールに記載している交換目安は、交換を推奨する時期です。
保証期間を示すものではありません。
使用環境によって、さらに短い期間で消耗、劣化する場合もありますので、点検リストに従い、定期点検を行ってください。
●定期点検時は、雨水が吹き込まないように、雨天時などを避けて、作業してください。
●点検の結果、異常や不具合があった場合や交換作業が必要な場合は、施工工事店までご連絡ください。有料で交換します。
劣化する前に交換することをお勧めします。

⚠警告

禁止		必ず守る	
	●漏電ブレーカやスイッチの確認･操作をする場合は、絶対に電極部に触れない 感電の原因となります。		**●電極部の点検をする場合は、必ず漏電ブレーカを「切」にしてから作業する** 感電の原因となります。 **●点検の結果、異常や不具合が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する** 施工工事店までご相談ください。

メンテナンススケジュール



※部品の交換は電気工事士の有資格者が行ってください。

■施工後10年程度経過すると劣化が進みますので、交換をご検討ください。
使用環境によって、さらに短い期間で消耗･劣化する場合もあります。
10年以上ご使用いただく場合、お客様ご自身で定期点検表に基づき、点検頻度を増やして（全ての項目を1回／月以上）点検を実施してください。
■施工後20年以内で必ず交換してください。

点検の結果、異常や不具合があった場合や、交換が必要な場合は施工工事店までご連絡ください。

定期点検表

●本点検表を必要枚数コピーしてお使いください。
●点検個所の位置は、各部の名前（6ページ）を参照してください。

●定期点検表に点検日と点検結果を記入してください。
点検結果記入例【○:異常なし、×:異常あり】

●点検頻度　1回/半年

部位	点検個所	点検内容	異常の原因	異常時の処置	点検日					
					/	/	/	/	/	/
充電スタンド本体	外観	さびや塗装の膨れはないか	傷などによるさびの進行	充電スタンド本体の建替						
		変形や傾き、割れがないか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
漏電ブレーカ	テストボタン	テストボタンを押したとき、「切」になるか（16ページ）	内部部品の故障	漏電ブレーカの交換						
充電ユニット部	外観	さびや塗装の膨れはないか	傷などによるさびの進行	補修塗料による補修または充電ユニット部の交換						
		傷やへこみはないか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形	充電ユニット部の交換						
	充電中LED（赤）	充電中に、充電中LED(赤)が点灯しているか	内部部品の故障							
	タイマーLED（赤）	充電タイマーを設定して、充電しているとき、タイマーLED(赤)が点灯しているか	内部部品の故障							
	Mode1スタートボタン	充電モード設定がMode3車両専用以外のとき、Mode1スタートボタンを押すことで、Mode1車両の充電ができるか	内部部品の故障							
	手元表示灯	扉を開けたときに、点灯しているか	内部部品の故障							
充電コネクタ用ホルダ	外観	樹脂の割れ･欠けがないか	衝突や打痕などの強い衝撃	充電コネクタ用ホルダの交換						
	取付状態	変形･傾きやがたつきはないか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
	充電用コネクタ勘合部	充電用コネクタを差し込んだとき、ロックがかかるか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
日常点検項目の再確認（日常点検内容は17ページに記載しています）										

故障かな？

下記内容をご確認の上、対処方法をお試しください。
確認の結果、異常がある場合は漏電ブレーカを「切」にして、施工工事店までご連絡ください。

⚠警告

禁止	**●漏電ブレーカやスイッチの確認･操作をする場合は､絶対に電極部に触れない** 感電の原因となります。	必ず守る	**●電極部の点検やディップスイッチを設定する場合は、必ず漏電ブレーカを「切」にしてから作業する** 感電の原因となります。

現　象	原　因	処　置
●充電が開始しない（充電中LED（赤）が点灯しない）	主幹・分岐ブレーカ、漏電ブレーカが「切」になっている	主幹・分岐ブレーカ、漏電ブレーカを「入」にする。（16ページ）
	充電用コネクタが車両から抜けている	充電用コネクタを確実に差し込む。
	充電モード設定がMode3車両専用になっているときに、Mode1車両を接続している	充電モード設定をMode1/3車両共用またはMode1車両専用に変更する。（12～15ページ）
	充電モード設定がMode1車両専用になっているときに、Mode3車両を接続している	充電モード設定をMode1/3車両共用またはMode3車両専用に変更する。（12～15ページ）
	車両が満充電状態になっている	車両にて充電状態を確認する。
	Mode1車両を充電中に瞬時停電が発生した ※瞬時停電が発生すると､安全性を保つため充電が停止する場合があります。	Mode1スタートボタンを押す。（9ページ）
	対応していない車両を接続している ※車種によっては､充電できない場合があります。	Mode1スタートボタンを押しても、充電が開始されない場合は、施工工事店までご連絡ください。
	充電電流設定を小さい値にしている ※車種によっては、充電電流設定の値を小さくすると充電を開始しない場合があります。	充電電流設定を大きい値に変更する。 （12～15ページ）
	DNM321PSで「通信有無設定」スイッチが「あり」側になっているときに､Mode1車両を接続している	DNM321PSでMode1車両を充電する場合は、「なし」側に設定してください。（12ページ）
	内部部品が壊れている	充電ユニットを交換する。 ※交換する場合は、施工工事店までご連絡ください。
●電源LED(緑)が点灯しない	主幹・分岐ブレーカ、漏電ブレーカが「切」になっている	主幹・分岐ブレーカ、漏電ブレーカを「入」にする。（16ページ）
	内部部品が壊れている	充電ユニットを交換する。 ※交換する場合は、施工工事店までご連絡ください。
●充電中LED(赤)が点滅し、エラーLED(橙)が点灯している	異常が発生している	異常発生時のLED表示内容（21ページ）を確認し、異常内容を施工工事店までご連絡ください。
	ピークコントロールボックス（別売）が壊れている（DNM321PSのみ）	ピークコントロールボックスを交換する。 ※交換する場合は、施工工事店までご連絡ください。 充電を一時的に行いたい場合は､「通信有無設定」スイッチを「なし」側にして充電してください。 ただし､充電電流の自動制御はできませんのでご注意ください｡ピークコントロールボックス交換後は､「通信有無設定」スイッチを「あり」側にしてください｡（12～15ページ）
●タイマーLED（赤）が点灯しない	充電していない、または、充電タイマー設定が「連続」になっている。	充電タイマー設定をする場合は、変更方法（12～15ページ）に従って設定してください。
	内部部品が壊れている	充電ユニットを交換する。 ※交換する場合は、施工工事店までご連絡ください。
●手元表示灯が点灯しない	扉が完全に開いていない	扉を確実に開く。
	内部部品が壊れている	施工工事店までご連絡ください。
●扉が開かない	施錠されている	暗証番号を確認して、解錠する。
	ツマミ操作が不十分	ツマミをOPEN方向に確実に回転させる。

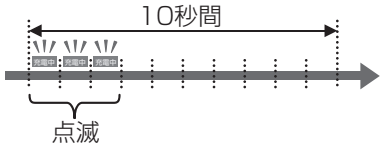
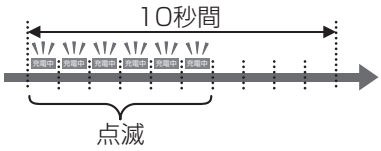
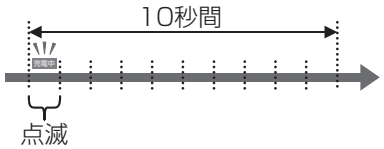
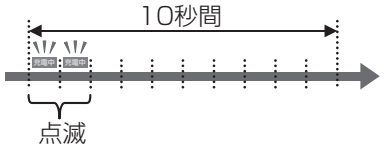
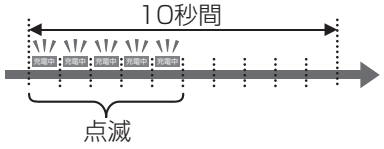
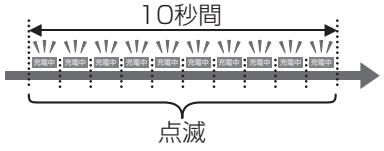
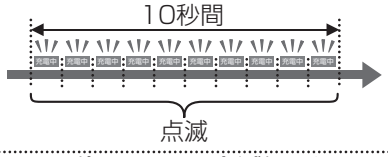
異常発生時のLED表示内容

異常が発生すると、充電中 LED（赤）が点滅し、
エラー LED（橙）が点灯します。
異常が発生した場合は、LED の表示内容をご確認の上、施工工事店までご連絡ください。

⚠警告

必ず守る

●異常が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する
感電の原因となります。

エラー名称	エラー内容	電源LED（緑）	充電中LED（赤）	エラーLED（橙）
漏電エラー	充電スタンド本体と車両との間に漏電を検知	電源		エラー
		点灯	10秒間に3回点滅繰り返し	点灯
漏電未検出エラー	漏電保護機能に異常発生	電源		エラー
		点灯	10秒間に6回点滅繰り返し	点灯
出力エラー	充電用コネクタと車両が未接続状態で、電源が出力される	電源		エラー
		点灯	10秒間に1回点滅繰り返し	点灯
非出力エラー	充電用コネクタと車両が接続状態で、電源が出力されていない	電源		エラー
		点灯	10秒間に2回点滅繰り返し	点灯
CPLT エラー	車両との接続確認信号に異常発生	電源		エラー
		点灯	10秒間に5回点滅繰り返し	点灯
機器異常エラー	充電スタンド本体に異常発生	電源		エラー
		消灯	10秒間に10回点滅繰り返し	点灯
通信エラー	充電スタンド本体とピークコントロールボックス間で異常発生	電源		エラー
		点灯	10秒間に10回点滅繰り返し	点灯

品番表示位置

品番表示位置

●品番は、本体の右側面下のラベルに記載しています。

品番表示ラベル

ダイヤル錠暗証番号の記入

●暗証番号を忘れたときのための、設定した暗証番号を記入してください。工場出荷時は「000」に設定されています。

暗証番号 □□□

仕様

品番	DNM321S	DNM321PS
タイプ	標準型	充電コントロール機能付
定格	単相 AC200V　50/60Hz　20A	
使用温度範囲	-10℃ ～ +40℃	
寸法	幅幅235mm×高さ1500mm（地表面からの高さ）×奥行230mm	
質量	約23kg（充電ケーブル含む）	
定格消費電力	6W以下（車両充電容量を除く）	
防水防塵	IP44相当（充電用コネクタを充電コネクタ用ホルダに収納し、扉を閉めた状態）	
充電ケーブル長さ	約6m（扉引き出し部からの寸法）	
通信方式･速度	ー	RS485準拠　9600bps
設置方式	埋め込み方式	
設置場所	屋内・屋外（日本国内に限る）	

保証とアフターサービス　よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理 などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話（　）ー
お買い上げ日　年　月　日

「故障かな?」(20ページ)でご確認のあと、
直らないときは、漏電ブレーカを「切」にして、
お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	EV・PHEV充電用 充電スタンド ELSEEV（エルシーヴ） mine（マイン） Mode3（モードスリー）
●品番	品番表示位置は、22ページをご覧ください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体１年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
＊ 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

＊ 補修用性能部品の保有期間　5年
当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後５年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は……

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://www.panasonic.com/jp/support/
パソコン・スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
携帯PHS OK
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「990 #」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）
■上記番号がご利用いただけない場合　06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan　Tokyo (03) 3256 - 5444　Osaka (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は……

パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト
http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 0120-872-150（パナニ イコー）
携帯PHS OK
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。
365日　受付9時～20時
■上記番号がご利用いただけない場合は　06-6906-1090

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

Panasonic

出張修理

EV・PHEV充電用 充電スタンド 保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書右欄記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書右欄に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は右欄をご参照ください。

品　番	□DNM321S（型式 DNM321S） □DNM321PS（型式 DNM321PS）
保証期間	お引き渡し日から **本体1年間**
※お引き渡し日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電　話（　）　—
※販売店	住所・販売店名 電話（　）　—

パナソニック株式会社　パワー機器ビジネスユニット
〒571-8686　大阪府門真市門真1048番地　TEL（代表）06-6908-1131

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

製造番号	

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
   （ハ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提出ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お引き渡し後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）本書のご提示がない場合
   （ヘ）本書にお引き渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （ト）離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
   （チ）取扱説明書、施工説明書等に従わないことにより発生した不具合
   （リ）法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わなかったことによる不具合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お客様ご相談窓口は、取扱説明書をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

見本

■本資料の記載内容は、平成 26 年 7 月 現在のものです。
■製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

パナソニック株式会社　パワー機器ビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地　TEL.（06）6908-1131〈代表〉

© Panasonic Corporation 2014

DNM321S-T10
D0714-0